



## 2012年4月報

Vol. 438 4月1日発行

<b>主 題</b>	<b>2011 - 2012 年度</b>	<b>クラブ・部・区・アジア地域・国際</b>
ク ラ ブ 主 題	「為さねばならぬ」	会長・横田憲子
阪 和 部 主 題	響き合い、ともに歩む	To walk together, echoing each other 部長・松本三枝子
西 日 本 区 主 題	ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献	理事・浅岡徹夫 (近江八幡)
	“Contribute to the Community through Active Services with Love”	
々 副 題	理想を目指して変革と行動	
	“Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”	
アジア地域主題	地域会長 Wichian Boonmapajorn (タイ)	
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」	
スローガン	“Mission with Faith” 「信念をもって使命をはたそう」	
国 際 主 題	国際会長 Finn A. Pedersen (ノールウェイ)	
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」	

### 阪和部長をやりとげたい



正野 忠之

3月10日から11日にかけて  
して会長・主査研修会があり、次  
期の阪和部長として最初の仕事  
を終えました。2012-13年  
度(第24期)の会長、事業主査

さんが一堂に会する場に臨み、格別な思いを感じたのは言うまでもありません。武者ぶるいというのでしょうか、それは身が引き締まる緊張感でした。私は仲間という言葉が好きです。縁あってこの期にご一緒する仲間たち。みなさんが仲間になれて良かったと思うような1年にと、願うばかりです。巻頭言で告白をひとつします。実は、阪和部長の役務をやってみたかったのです。たまたま4年も続けて阪和部で仕事をしてきたからだだと思います。器かどうか、自分にそんなことが務まるかなど頭になく、最初は阪和部長なんかよう受けはるなあという思いが強かったのですが、いつしか自分ならこうしたいという思いに駆られていました。西日本区に首を突っ込むと、なおさら感じるがあります。ブリテン2月号に書きましたことと重複しますが、今から何とかしないと10年後の阪和部は確実に危ないよという危機感を、声を大にして訴え続けます。いや、訴え始めないと本当に危ないのです。未来に導いてくれることを期待します。阪和部は「阪和クラブ」と評されるほど明るくて仲の良さが自慢ですが、大阪・奈良・和歌山という地域性を共有できていないように感じますので、そこに自分なりの思いをぶつけます。マンネリを打ち破ります。当たり前のように過ぎていく行事のひとつひ(次頁に続く)

[今月の聖句] コリントの信徒への第2の手紙  
9章6節~7節

「惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。」



豊かな奉仕は、私たちを豊かな  
人に成長させてくれるのです

### 【4月例会プログラムご案内】

日時：4月19日(木) 18:30~20:30

会場：サンホーム6階

強調月間 “YMCA サービス・ASF”

司 会 : 佐古至弘君

開会点鐘 : 会長・横田憲子さん

ワイズソング : 一同

聖句朗読 : 中野義彦君

ゲスト・ビジターご紹介 司会者

会長の時間 : 会長・横田憲子さん

食前感謝 : 佐古至弘君

晩 餐 (中野義彦君のアレンジ)

インフォメーション : 当該者

ゲストスピーチ 「ミヤマー訪問報告」

吉田有美子リーダー

「東北支援活動報告」

新谷美紀リーダー

質疑応答

誕生日のお祝い

ニコニコ・アワー 伊藤玲子さん・望月治子さん

YMCAの歌 : 一同

閉会点鐘 副会長・宮本桂子さん

(前頁から続く)とつがもっと実りあるものになり、それが10年後へつながるよう、私は阪和部長をやり遂げたいと決意します。

種は蒔かないと実らへんで。100蒔いて100実ると思ったらあかん・・・私が任を仰せつかって間もないときに、岩坂ワイズからいただいた言葉です。この言葉を胸に抱き、がむしゃらに走ります。実らせる自信などありませんが、たかが1年、されど1年です。種を蒔き続けることはできると思います。幸いに、河内クラブから畠平剛志さんという強力なパートナーを主査さんとして得ました。私は動力を得たと思っています。二人で阪和部という船を推し進めていきます。とは言え、微力です。河内クラブのみなさん、さらなる動力を与えてください。どうかお支えください。巻頭言が決意表明のようになってしまいましたが、お前に任せて良かったと言っただけのよう全力を尽くします。

3	月	例	会	報	告
---	---	---	---	---	---

報告：岩坂正雄

日時：3月15日 18:30~20:20

会場：サンホーム 6階

出席者：メン 伊藤圭介、岩坂正雄、大谷美佐子、加藤寿枝  
佐古至弘、新本英二、杉村 徹、田中惟介、  
中野義彦、畠平剛志、藤井敬子、宮本桂子、  
望月 強、横田憲子、芳澤伸之  
メネット 伊藤玲子、大藪暢子、新本力子、中野涌子、  
初田真佐子、望月治子  
ゲスト 大島 章、鈴木えみ  
ビジター 今井利子(大阪なかのしま)、飯沼 眞(大阪泉北)

以上25名

強調月間 “EF JWF”

司会・加藤寿枝さんが定刻に開会を告げ、横田会長の開会点鐘、伊藤圭介君による聖句朗読、司会者によるゲスト・ビジターの紹介があった。

会長の時間：横田憲子会長より3月3日の東YMCA感謝祭で8名の卒業リーダーへの感謝とリーダー活動に対する河内ワイズの支援への感謝があった。支援のためには資金が必要で、3月20日のチャリティコンサートへの協力をお願いする。

インフォメーション

**大谷 EMC 主査**：3月17日に阪和部 EMC 推進委員会があり、和歌山クラブが「魅力ある公開例会のノウハウ」を実施する予告。

**飯沼さん**：(次々期阪和部長、次期大阪泉北クラブ会長)：6月23日(土)に大阪泉北クラブ30周年記念例会を開き、障害者作品展表彰と平川康弘氏(堺伝統工芸士5代目「佐助」)の記念講演がある。

**田中君**：チャリティコンサート出演の菅原哲夫氏(宮沢賢治の詩朗読者)がNHK朝の番組で紹介される。

**佐古君**：3月11日に車椅子20台の清掃奉仕。河内ワイズ5名のほか、大阪商大高校生12名のボランティア奉仕があった。

桃の里幼稚園の草刈り奉仕は5月に延期、年賀はがきの記念切手のご提供を。

**岩坂君**：IBC のロシア・オゼルキクラブからの紹介でスメナクラブの Elvi Usmanova さん(ジャーナリスト、写真右)が来訪される。伊藤さんが中心となり下記のお世話をする。3月27日(火)来阪、伊藤宅ホームステイ、28日(水)京都観光と伊藤宅ホームステイ、29日(木)~30日(金)望月さん案内で高野山へ(1泊2日)、31日(土)山辺の道ウォーキング、横田会長と伊藤メネットが案内、その後松坂へ出発。



**横田会長**：3月20日のチャリティコンサートは午後2時集合で会場設営などご協力を。田中君からはコンサート終了後出演者とともにロイヤルホストでの打ち上げ会への参加おすすめ。

**中野メネット**：4月19日に南座の観賞会にご参加を(3000円)ゲストスピーチ「韓国あれこれ」

大島 章氏

1958年生まれ。天理大学で韓国・朝鮮語を専攻、1年間韓国に留学、卒業後大阪YMCAに奉職、南YMCAでサッカー指導や在日ファミリープロプログラムなど担当。2011年より韓国鉄鋼商社に勤務。韓国済州クラブへの通信文の翻訳などでお世話になっている。



**私**は親の仕事の関係で韓国への親しみが有り、留学や旅行を通して韓国人の親しさを感じ、遂には韓国の会社に務めるようになった。子どもの頃から、ラグビー、サッカーが好きで杉村主事のお世話でYMCAに就職して南YMCAではサッカー教室などの仕事を担当。ソウルY主催のサッカー国際キャンプにも参加、パワーポイントの写真にあるように、言葉が通じないキムチが食べられないなどの生活文化の違いがあってもボールひとつで心が通じ合い、親しい仲間になれる、、、こんな経験をさせてもらった。

いまの韓国は、日本を追い越さんばかりの勢いで技術や経済力が発展し、サムソンなどは日本の伝記・電子の会社を抜いて世界市場に進出している。文化面でも芸能界や絵本、マンガなど急成長している。

《質問》

望月：米国と共に関税撤廃した影響は？ ——> かなり反対があったが、進展していくと思う。

中野：日本でのレストランの時期と重なって技術者のヘッドハンティングが多いのでは？ ——> そのように聞いている。

岩坂：担当されている業務内容は？ ——> 輸出入業務

横田：韓国語で難しいのは？ ——> 語順は同じだが発音がむ

つかしい。

鈴木スタッフから、東北でのリーダーたちのボランティア活動に対する感謝として仙台名物「牛タン」のお土産が提供された。恒例のニコニコアワー、YMCAの歌合唱があり、定刻より早めに宮本副会長の閉会点鐘によって散会。

以上

### 第37期3月役員会報告 より

報告：畠平剛志

日時：2012年3月22日(木) 19:00～20:30

場所：東YMCA

出席者：横田憲子、望月 強、芳澤伸之、田中惟介、藤井敬子  
伊藤圭介、佐古至弘、正野忠之、中野義彦、畠平剛志  
大谷美佐子 以上11名

4月例会 4月19(木) サンホーム

B班担当 中野、大谷、田中、佐古、畠平、大藪

ゲスト 「ミャンマー訪問記」

吉田有美子さん(ピータンリーダー)

「東北支援活動報告」

新谷有美子さん(ぜんリーダー)

竹中崇紘さん(ちーたーリーダー)

司会・佐古君、聖句朗読・中野君、食事手配・中野君  
食前感謝・佐古君、ニコニコ・大藪メネット&中野君  
受付・田中君、藤井さん 音楽担当・会計兼任

5月号ブリテン原稿

4月例会報告・大谷さん、4月例会ニコニコテ  
ブ起こし・田中君、4月役員会報告・担当者、  
Yニュース・重信さん、サンホームニュース・  
尾北君、巻頭言・中野君、原稿締切4月27日

《審議事項》

1. 4月例会担当B班(中野、大谷、田中、佐古、  
畠平、大藪)

ゲストとして、吉田有美子さん(ピータンリー  
ダー)に「ミャンマー訪問記」、新谷美紀さん(ぜん  
リーダー)に「東北支援活動報告」、及び竹中崇紘  
さん(ちーたーリーダー)を迎える。ゲストのプロフ  
ィルは横田会長よりブリテン委員に送付。

2. 5月例会に関して

ゲストスピーカーはメネットに一任。4月役員会で報  
告。

3. 5月例会に関して

ゲストスピーカーはメネットに一任。4月役員会で報告。

4. らくらく車椅子登山に関して

実施日 2012年4月22日(日)。3月5日に第1回  
実行委員会を開催(YMCA、ワイズ、ザ・リッツ・カ  
ールトン大阪)の3者で、3月27日に第2回実行委員  
会開催予定。全体で120名以内の参加者で、車椅子参  
加者は20名程度を予定。

雨天時のプログラムなど検討中。車の手配を早めに行う

予定。今回は毎年参加のザ・リッツ・カールトン大阪社  
に特性を活かしていただく形での参加を交渉。

5. 西日本区年次代議員会議案提出の件

4月23日必着

6. 欠席者の情報

班長が班員の出欠を把握し、会長に連絡する。特段の理  
由があれば例会で欠席理由を発表する。

7. 西日本区参加者について(宿泊)

現在のところ7名参加確定

8. EMC推進(公開例会他)(楽しい例会)

「楽しい例会」を企画する。

9. 阪和部と河内クラブの行事日程のすり合わせ

検討中。

《確認・報告》

1. チャリティコンサート報告

報告別途。参加者68名(一般来場者33名、河内  
19名、他クラブ16名) チケット販売117枚、  
寄付を含めて収入185,500円、支出は出演者  
謝礼10,000円×2名、花代1,900円。  
収益はすべて東日本大震災支援のために東YMCA  
に捧げる。

2. 阪和部メネット会報告

3. YYYフォーラム報告

4. 阪和部EMC推進委員会報告(大谷EMC主査)

5. なごみの予定

3月は実施せず、4月は今のところ第4土曜日予定。

以上

### 「第16回らくらく車椅子登山」お願い

**ボランティア参加の方を募集中しています**

**実施日 4月22日(日)**

**行き先 府民の森・らくらく登山道コース**

今年度は車椅子参加者20名、それを支えるサポ  
ーター100名規模で実施いたします。いつも  
課題となるのが送迎用の車の台数確保です。  
ご協力をいただける方は、車種・乗車定員・  
台数などを、正野実行委員長までお知らせくだ  
さいますようお願いいたします。



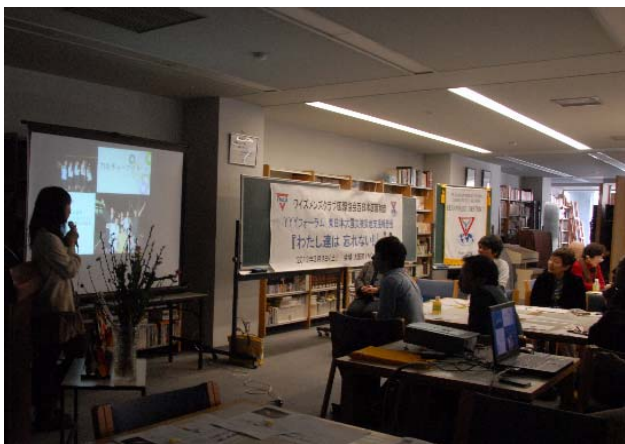
[連絡先 東YMCA 06-6787-3232]

主催：大阪河内ワイズメンズクラブ・東YMCA  
協力：NPO法人 日本パークレンジャ協会



# Y's men mca outh leader フォーラム

3月3日  
主催  
阪和部



昨年、「YMCAに集うボランティアの仲間たち」として開催された「YYYフォーラム」は、今年度はさらにワイズメン、YMCA、ユースリーダーが交流できる時間を持ちたいとする考えから、「東日本大震災被災者支援報告会（わたし達は忘れない）」として、「YYYフォーラム」が3月3日（日）13時から大阪南YMCAライブラリーにおいて開催された。

参加者は、ワイズメンズクラブ、大阪、奈良、和歌山各YMCAスタッフ及びユースリーダーなど約70名。藤川洋Yサ・ユース事業主任も広島から駆け付けられ、被災地ボランティア活動に参加した方々の報告を中心に、情報交換ひと息タイムや、アジアエリア大会におけるユースコンボケーションに参加された久保陽子リーダー（奈良Y）による体験と参加を啓蒙する報告がなされた。"ちょっと一息コンサート"と銘打って、ゆずリーダーがメンバーとして加わる弦楽四重奏団「みらあず」による軽妙なる室内楽の調べが会場を癒し、今回のフォーラムは終始ユースリーダーを核としたものであった。

特に、震災地へ入った彼らが想定外の状況に直面した中での活動に、安易な共感を表すことなど許されない思いだった。

## 「わたし達は忘れない」

奈良Y・大阪東Y・和歌山Yユースの活動報告

### 奈良YMCAユースリーダーの報告から

東日本大震災被災者支援活動に参加した奈良YMCAユースリーダーを代表して、岩井隆明・ジャニリーダー、福富知恵・ちーたリーダー、本田勇樹・だーほんリーダー、森岡美貴・みっきーリーダーの報告は、宮城県・山元町でイチゴ農園の支援作業に携わった体験を中心に無残に破壊された現地の様子など報告された。山元町はイチゴ生産地として栽培ハウスなど生産施設多いところであるが、設備の修復や家屋の片づけなど二日間にわたっ

て作業を続けられた。ヘドロの撤去や苗の植え付け作業など活動するリーダーたちの頼もしい様子がスライドで紹介された。

「命さえあれば何度でもやり直せる。車も流された。でも命さえあればまたやり直せる」と、命の大切さを復興へのエネルギーに替えて頑張っておられる現地の人たちの生き方こそ、リーダーたちに大きな糧として与えられたことでしょう。「クリスマスまでに出荷を」の願いをめざしてがんばられ、やがてイチゴ販売の開始式を迎えられたとの報告とともに、リーダーのもとへ送られてきた真っ赤に実ったイチゴと対面する。「復興はまだまだだけれど、ここまでこれたよ!」と、イチゴは語りかけてくれましたと、報告の最後を結ばれた。支援活動に参加したリーダー11名、三枝隆連絡主事、中井信一Yサ・ユース主査が同行された。

### 大阪東YMCAユースリーダーの報告から

同じく11月下旬、宮城県・南三陸町志津川の仮設住宅でたこ焼きパーティ「たこパ」を展開した東YMCAユースリーダーを代表して、野村有紗・ありんこリーダーから報告された。

彼らをこの地へ送り届けることになった動機、それを支えた様々な人たち、現地の人たちとの心の交流など支援活動であったが、プログラムを通じて現地の多くの被災者との交流の様子が報告の柱となっていた。



写真は、リーダーの報告を聴くワイズメン、メネットさん

9月に大阪全Yリーダーによる被災地支援キャラバンに参加した彼らは、現地の人たちがお話を求める機会を求められていることを知り、それなら東Yリーダーで「たこパ」を被災地で実施する計画をたてたことに始まった。

事前の準備から資金づくりのためにフリーマーケットを開いたり、それぞれの役割を積み上げて実現された。

活動の報告はスライドでされたが、河内クラブは彼らの活動報告会として2012年2月例会でそのスライドを通じて感動を与えられたことはまだ新鮮な記憶の中にある。

同様に、活動に同伴された鈴木えみ東YMCA所長のレポート（プリテン2012年1月報）によりすでに詳細に報告されており、再度ご参考にさせていただきフォーラムの報告では詳細をあえて省かせていただくこととしたい。尚、彼らの支援活動は今後も計画されており、リバープレイスでのフリーマーケットで応援いただいた伊藤玲子メネットをはじめ河内クラブの支援を感謝とともに報告された。（参考資料：プリテン2012・1月報、3月報）

### 和歌山YMCAコースリーダーの報告から

被災地での支援活動、最後の報告者として和歌山YMCAコースリーダー森田晟也・ざるリーダーが、震災間もない4月上旬、現地ボランティアセンターで活動された報告がされた。

テレビや新聞などでの報道による情報とは別に、ひとりの若者が被災地で現地の人たちとともに混乱する答辞の様子などあれこれと報告された。

遊んでいるときの子供たちは普段とは変わらないが、犠牲になった家族のこと、流失された家屋のことなどに思いが及ぶような時など、言葉の出ない子供がいたと。

押し寄せてきた津波の境界線を境とする内と外の生活の違いは言葉に絶するものがあると、彼は語る。私たちがその想像を超えるものがあることを彼は伝えたのである。

12時間かけて豆腐を運んできたトラック運転手と700時間支援活動に献身するボランティアスタッフの対峙ボランティアセンターでのミーティングで報告されたあるツイッターの書き込みが紹介された。

「12時間かけて運んできた支援物資の豆腐を、受け取れないとするスタッフに激怒する運転手。700時間ボランティアセンターで自己を投げ出し献身するスタッフが平身低頭謝っている。」

「ボランティアとして入る」ことの意義と自覚について考えさせられるひとコマであった。看護師としての進路に向かう彼は、「寄り添う」ことを看護師の第一歩とすると、自己の考え方を示して報告を終えられた。

以上、3者の報告についての記述は筆者のメモによるものです。報告者の意図する力点や方向と相違があるかも知れないことをあらかじめお断りさせていただきます。

### アジア大会ユースコンボケーション 参加報告から

昨年、台湾で開催されたアジア大会ユースコンボケーションに応募、参加された久保陽子リーダから大会の報告と今夏ノルウェーで開催される国際大会でのユースコンボケーションへの参加を呼び掛けるメッセージがありました。また、彼女自身、ワイズメンズ活動への姿勢を示し、ユースクラブである「姫路-Y3」クラブへ入会することを決意した旨、報告されました。



各Yのリーダーたちの「野」報告は会場の皆さんを引きつけた。支援を絶やしてはいけない思いだ

### リーダーによる「ちょっと一息 “コンサート”」

ゆずリーダー率いる弦楽四重奏団「みらあず」が、すばらしい弦の響きでフォーラムのひとつときに安らぎと憩いの時間を与えてくださった。

聞きなれた名曲や楽しい調べなど演奏いただき、ゆずリーダーは、「あたたかい雰囲気の中で楽しく演奏させていただきました。このような機会をいただき本当にありがとうございました」と、述べておられました。「みらあず」は、彼女が学籍を置く大阪教育大学の学友で構成されています。



写真：左から2番目が「ゆずリーダー」

## 阪和部メネット会 YYYフォーラムを協賛

3月3日、土曜日 南YMCA 12時から

記録 伊藤 玲子

YYYフォーラムの前に阪和部のお雛祭り合同メネット会に参加しました。会場401号室は桃の花と菜の花とお雛様グッズに囲まれ華やいだ雰囲気であらくなりました。吉田阪和部主査の挨拶の後、各クラブの活動報告があり河内クラブは手作り小物の製作と震災募金活動で一部を献金させて頂いた事、そして5月メネット例会のアピールをさせて頂きました。京懐石の幕の内を頂き阪和部メネットの交流が賑やかにおこなわれました。記念撮影のあと、昼から2FのYYYフォーラムへと移動しました。参加者のお土産にメネット手作りキッチン小物と可愛いミニ色紙雛飾りプレゼントを頂きました。サウスクラブのメネットの皆さまには心温まるお世話になりました。

出席者：望月治子&望月 強夫妻、中野涌子、初田真佐子、伊藤玲子 の5名

以上

阪和部メネット会に参加された昔少年・元少女





チヤリテイコンサート



東日本大震災復興支援チャリティ公演として  
大阪河内「ワイズメンズクラブ」が企画・主催

3月20日、大阪東YMCAにおいて、東北の震災被災者支援のための朗読とフランスシターによるコンサートが開かれた。近隣の人たちをはじめ、地域ワイズからも駆けつけていただき、およそ70名の聴衆が支援し参加くださった。

このコンサートは、歴史的には古い祈りの楽器と言われる弦楽器「フランスシター」の調べにのせ、岩手の方言で綴る宮沢賢治の作品世界が朗読される組み立て。フランスシターはアコースティックな楽器で、その微弱な音量が朗読と絶妙なマッチングをした上で、さらに聴衆側の心と調和することがなければコンサートとして成り立たないものである。ステージ周りだけを照らす柔らかいライト、照明を落とされた客席、静寂さの中で同化されてゆく小さな世界。こんなコンサートがあるのかと、演奏後の談話で多く聞くことができた。

出演者は、朗読・すがわらてつお氏(数日前、NHKで紹介された)演奏・いしだむつみさん。オープニングは、「雨ニモマケズ」で賢治の世界に引きずりこまれた。奇しくも宮沢賢治は1896年、「三陸大津波」の年に岩手県で生を受け、1933年、「昭和三陸大津波」の年に享年37歳で永眠している。

賢治の詩や手紙など朗読され、次々と賢治の世界広がった。配られていたプログラムには見つけることは出来なかったが、太平洋戦争終戦間際のビルマを舞台に、ひとりの日本兵士の生きざまをテーマとした「ビルマの豎琴」の朗読は、会場を涙した。青年僧水島上等兵と一緒に日本へ帰ろうと必死に呼びかけた隊員達。こらえ切れなくなったように豎琴を弾く青年僧。『埴生の宿』と『仰げば尊し』祖国のメロディーに心打たれる隊員達を後に、水島は森の中へ去って行った。朗読のバックでこの二曲が流れる。シターならではのクライマックスであったといえよう。このコンサートの収益金163,600円は、東北震災被災者救済のため東YMCAを通して献じられる。



写真左はフランスシターと演奏する  
いしだむつみさん

演奏後の感想から

藤井弥生：初めて聴かせていただきましたが、しっかりとしてとてもよかった。奥田時夫：河内らしいなと思いました。こんなに静かに聞けるなんて素晴らしいことです。隣におられる方の息の音まで聞こえてきました。あの静けさがなかったらこの演奏は生きてこなかったでしょう。森本栄三：珍しい楽器の音を楽しませていただいた。いつも喧騒の中にいますので落ち着いた気持ちにさせていただきました。大変貴重な、こんな初めてです。誘っていただきありがとうございます。小阪から来られたご夫婦：横田会長に誘っていただき良かったです。中井信一：印象を持たずにきた。穏やかな気持ちになれていい演奏会でした。シターは初めて聴かせていただいた。松本三枝子：コンサートだと聴いていたので普通の楽器を連想していました。語りがすごくうれしかった。何年か前に「ビルマの豎琴」を観まして心を動かされた。あの戦争の悲惨な光景が蘇ってきました。今日こさせていただき良かったです。松岡虔一：良かったですね、心が清められた感じですね。震災支援のコンサートとして相応しいものでした。震災の犠牲者のことを思って涙がでてきました。これからも支援の方を頑張りしたいと思います。すがわらてつお：こんな雰囲気の中で聴いていただき感動しました。会場の皆さんから伝わってくるものがいつもと違うものがありました。涙して聴いて下さる方もあり、みなさんから感動を頂きました。シターは祈りの楽器ですが、あの楽器に支えられて賢治の世界をお伝えできました。いしだむつみ：みなさん熱心に朗読とシターの音色に耳を傾けていただき感謝しています。シターは祈りの楽器ですので、賢治の思いに沿うような楽器なんだなと思います。(写真提供・伊藤圭介)



すがわらてつおさん



卒Yリーダーとスタッフに感謝

YMCA活動を支えてこられ、今春卒Yされるリーダーへの感謝式典が3月3日行われ、新本英二運営委員長から感謝の楯が贈られました。また、今年度の異動で、東YMCAを離れることが決まっている東YMCA・サンホーム館長の尾北昇さん、東YMCA所長・鈴木えみさんに花束が贈られ、地域に密着したYMCA活動へのご献身に感謝いたしました。それぞれの方々の前途に更なる神様のみ恵をお祈りします。

### 3月例会の余韻

#### ニコニコ語録集



#### ダイジェスト版

ゲストスピーカー 大島 章 氏を迎えた例会で

飯沼 眞：次々期部長として東日本大震災の事を覚えて色々動いて行きたいと思います。 今井利子：太田さんありがとうございます。韓国もかなり日本を追い越していると思っておられるのではないのでしょうか。両国仲良く行きたいものですね。

皇平剛志：東北にリーダーが2回目のボランティアに向かわれた、又報告を聞きたい。 新本英二：近い国のことが理解出来ていなかった。これから近くなって行くのだと思う。アジアの国はどうなるかわからない、北朝鮮や中国と問題が起きてくるのだと思います。 岩坂正雄：大島さんありがとうございました。是非我々ワイズのお仲間になってください。 佐古至弘：11日の車椅子メンテナンス無事おわったこと、ありがとうございました。桃の里幼稚園は寒くて草が生えていないので1ヶ月のばします。 大藪暢子：メネットの南座の勉強会を楽しみにしています。 大谷美佐子：大島様のYスタッフ時代、ボール一つで心が通じるというのは素晴らしい事ですね。

初田真佐子：大島様、私の甥っ子のそっくりです、甥っ子の方が男前では負けていますが。 田中惟介：プリテン委員を終



えてホットしていますが、何となく気力がなえてしまって、2月3月と体調を崩してしまいました。 藤井敬子：誕生日のプレゼントありがとうございました。家族では誰も御祝いを言ってくれなかったから嬉しいです。 中野涌子：他の人が語学をやっているのを聞くと凄いなと思うのですが、自分ではなかなかです。 新本力子：ありがとうございました。 伊藤圭介：韓国のお話ありがとうございました。 中野義彦：鉄鋼関係は日本にもっと進出してくると思います。 鈴木えみ：色々有り難うございます。 杉村 徹：私が面接して(大島さんを)採用しました。YMC Aやめたのは悔しいですが、新しい所で活躍しているのを見るのは嬉しいです。是非ワイズメンズクラブにご入会を。 大島 章：杉村さんにはお話を聞いていただきかったのです。会社訪問時に助けていただいたのを覚えています。是非、河内クラブの皆さん韓国に行ってください。 横田憲子：4世紀ころには日本が韓国を追いかけていました。時代が変わるとどうなるのかなとこれから楽しみです。 望月 強：韓国語はカ・ナ・ダ・ラ・マ・パ・サから一歩も進んでいません。

宮本桂子：大島さんありがとうございます。韓国に行ったことがないので、韓国に行くときは通訳をお願いします。 加藤寿枝：韓国に行ったことがありません。行かないと時代に遅れそうです。 伊藤玲子：韓国に初めて行ってから、韓国のものがよく目につくようになりました。 以上

### 2回 阪和部 EMC 推進委員会報告

2012・3・17

阪和部 前期実績・・・入会者4名(和歌山、大阪堺)退会者3名増減 +1名しかし、「クラブの木」でうまく表現され、今後高齢化が進むクラブへの警鐘を鳴らされました。

「和歌山クラブ~魅力ある公開例会」というテーマで和歌山クラブ会長が基調講演をされました。多くの回数を開かれ、常連さんもおられるとの事。公開例会で講師を務められた方が、会員になられ、次期会長になられるとの事で、元気を頂きました。西日本区大岩英人EMC事業主任は、今後のEMCのポイントの中で特に新会員への気配り、目配り、心配り、欠席者への問いかけ、お誘い、お願いを強調されました。

プラスワン例会、100%出席、2V例会など、各クラブが独自の取り組みを期待したいとの事でした。

報告：宮本桂子

### 第7回「車椅子クリーン・メンテ」の奉仕事業報告

2012年3月11日(日)午後1時~3時まで大阪YMC A特別養護老人ホーム「サンホーム」の入居者の方々が使用する車椅子清掃及びメンテナンスを行いました。

昨年と同様に、大阪商業大学高校「デザイン美術コース」久語民雄先生はご子息と共に、男子生徒4名、女子生徒8名の高校生、河内クラブのメン・メネット5名で施設内18台の車椅子を2時間余りかけてのクリーン作業でした。食べ物のこぼれた車輪やフレームの汚れ、タイヤの空気圧・ブレーキの調整など作業が多く2時間は瞬く間に過ぎました。

若き高校生のテキパキとした行動で作業を進めてくださり本当に感謝です。お陰さまで2時間あまりで車椅子のクリーンが終わり、1階ロビーにてお茶会の感謝会をもち、久語先生はじめ高校生の方々に尾北施設長、芳澤伸之、佐古至弘委員よりお礼を申し上げ、来年もよろしくとお願いして無事終了いたしました。クラブからの参加者は、尾北 昇、芳澤伸之、藤井敬子、初田真佐子、佐古至弘でした。

報告：地域奉仕・環境 委員長 佐古至弘



作業中の大商大高生の方々と記念撮影 写真提供・芳澤伸之



今月の強調月間メッセージ

4月 YMCA サービス・ASF

YMCAサービスはワイズ活動の根幹です。  
より一層のサポート体制の向上に努めましょう。  
藤川 洋 Yサ・ユース事業主任

会 員 数	21名
(特別メネット会員数)	1名
3月例会 会員出席者	15名
メイクアップ	2名
3月の出席率	81.0%
ゲスト・ピジター出席数	4名
メネット・コメット出席数	6名
例会出席者総数	25名
役員会出席者数	9名
3月延べ出席者	36名
3月ニコニコファンド	17,910円
同 今期累計	139,325円

第15回西日本区大会  
ご案内



開催日：2012年6月9日(土)～10日(日)  
会 場：大会・滋賀県立文化産業交流会館  
懇親会・長浜ロイヤルホテル  
聖日礼拝・長浜文化芸術会館  
登 録：第一次申込(3月31日必着)  
第二次申込(5月15日必着)  
クラブ一括申込ですので配布されている  
申込書にご記入の上、横田会長に申込み  
ください。  
ホストクラブ：長浜ワイズメンズクラブ  
協力クラブ：びわこ部 6クラブ  
詳細は、資料をご参照ください。

2012 4 Apr. >> 5 May. スケジュール

- 4月 1日(日) ・大阪長野クラブ35周年記念例会  
12:00～14:30  
河内長野市立市民交流  
センター 会費 ¥5000
- 4月 9日(月) ・第3回らくらく登山委員会  
18:30～ サンホーム
- 4月15日(日) ・大阪高槻クラブ30周年記念例会  
14:30～18:30  
高槻京都ホテル  
会費 ¥10000
- 4月19日(木) ・クラブ第一例会  
18:30～20:30
- 4月22日(日) ・第16回「らくらく車椅子登山」  
実施要項2頁参照  
・京都パレスクラブ40周年  
プラス1記念例会  
16:00～20:00  
京都オークラホテル  
会費 ¥10000
- 4月26日(木) ・クラブ役員会  
19:00～21:00
- 4月28日(土) ・サンホーム「なごみ」奉仕  
・震災支援チャリティショップ
- 5月15日(火) ・第15回西日本区大会第二次登録  
締切日
- 5月17日(木) ・クラブ第一例会 18:30～20:30
- 5月24日(木) ・クラブ役員会 19:00～20:30

4月例会 ゲスト・スピーカー プロフィール

吉田有美子さん ピーターリーダー 野遊び担当  
関西福祉科学大学4回生・愛知県出身  
新谷 美紀さん ぜんリーダー  
キッズわんぱく担当 ・石川県]出身  
竹中 崇紘さん チーターリーダー

Happy Birthday



4月 2日 丸尾 初子さん (おひつじ座)  
4月 7日 伊藤 圭介君 (おひつじ座)  
4月 8日 大谷美佐子さん (おひつじ座)

第37期 2011/2012年 クラブ役員

会 長・横田憲子	Yサ・ASF・田中惟介
副会長・宮本桂子	地域奉仕・佐古至弘
直前会長・大谷美佐子	EMC ・望月 強
書 記・望月 強	ファンド・新本英二
芳澤伸之	交 流・岩坂正雄
会 計・田中惟介	広 報・伊藤圭介
藤井敬子	メネット・伊藤玲子
連絡主事・杉村 徹	会計監査・新本英二

発行者：横田憲子 編集者：丸尾欽造  
HP : <http://kawachi-ys.org/>